

謹賀新年



あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新春をお迎えになられたことと、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から町政運営に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

町長就任の際に公約に掲げ、策定しました第7次芳賀町振興計画が、令和6年度からスタートしました。

「協働によるまちづくり」を計画の基盤とし「11の重点項目」に取り組むことで「住みやすいまち」「活気あふれるまち」「持続できるまち」の3つの将来像を実現し、誰もが安心して快適に暮らすことができ、多様な幸せを実現できるまち「スーパースマートタウン」の実現を目指します。

令和6年度から、LRTを活用したまちづくり事業が動き出しています。その1つが、かしの森公園の再整備事業です。かしの森公園周辺は、LRT路線と工業団地が展開するスーパースマートタウンの象徴的なエリアであり、地域活性化・観光振興に資するポテンシャルを持つ地区です。企業と連携を図った様々な体験、活動やイベントなどに活用できる場として利用していただけるよう再整備の検討を進めています。

また、AIなど最新技術を導入した移動手段を提供することで、町民の皆さまやLRTを利用して芳賀町を訪れる皆さまにとって、快適な交通環境を実現できるよう実証事業にも取り組み、町内の公共交通手段の最適化が図れるよう検討を進めます。

芳賀町は、令和6年3月に町制施行70周年を迎え、さまざまな記念事業を実施してきました。特に4月の記念式典においては、町内に立地する自動車関連企業にも協力をいただき、式典の中でご講演いただいた他、同日開催された道の駅はがでの「ミライにつなぐ乗り物フェス」も盛大に催すことができました。これからも、多くの町内立地企業の皆さまと連携し、お互いの強みを活かすことで、ともに良い効果が生まれるよう、共創の取り組みを推進してまいります。

LRTが走る全国唯一の町が、さらに飛躍・発展するため、町民の皆さまとともに考え、ともに行動することで、芳賀町の目指す姿「スーパースマートタウン～幸せを実現できるまち～」となるよう、取り組んでまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして健康で幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和7年1月

芳賀町長 **大関 一雄**



新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと拝察し、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日に石川県能登地方を震源とした大地震が発生し、今や風物詩になりつつある猛暑に加え、各地で豪雨による被害が出るなど、自然災害への備えの必要性をあらためて考えさせられる一年でありました。

また、景気は緩やかな回復傾向と言われるものの、国際情勢の影響による燃料、原材料価格の上昇、人件費の上昇などに起因する物価高騰は、人々の生活を圧迫し、まだまだ真の景気回復とは言えない状況です。

そのような中、芳賀町においては、町制施行70周年を迎え、町民の皆さまとともに先人たちの偉業に想いを馳せつつ、お祝いができたことは喜びにたえないところです。また、第7次芳賀町振興計画が策定され「スーパースマートタウン～幸せを実現できるまち～」を目指し、さまざまな施策がスタートしました。

令和7年は、超高齢化社会による社会保障・医療需要の拡大、労働力不足による経済成長鈍化などに深刻な影響が見込まれる、いわゆる「2025年問題」に直面する年となります。

芳賀町においては、そのような社会情勢の中にありながらも、未来を見据え、第7次芳賀町振興計画の下、DX、カーボンニュートラルの実現などを着実に進めながら、LRTを核とした公共交通網の整備など、新たな成長戦略にも取り組んでいかなければなりません。

議会といたしましても、社会の動向を的確に捉えながら、町政の最終決定機関としての重責を果たし、議会を活発に機能させることで、町民の皆さまの声を町政に的確に反映していきますことに、議員一丸となり最大限の努力をしてまいります。

巳年は「成長」と「変化」の象徴であり、繁栄が訪れると言われております。蛇が脱皮を繰り返して成長していくように、皆さまとともに新しい挑戦を繰り返しながら、さらなる町の発展を目指してまいります。

本年が、町民の皆さまにとりまして、和やかで幸多き年となりますようご祈念いたしますとともに、これからも議会に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和7年1月

芳賀町議会議長 **小林 信二**